



奉仕活動で手作りベンチを寄贈

10月15日(土)、(株)有馬工務店と有栄会に所属する21社から計36名が参加してベンチを10脚製作し、町に寄贈しました。

有馬工務店の脇田康弘社長は「社会奉仕の精神で、皆さまに喜んでいただけたらという気持ちでベンチを作り、毎年寄贈させていただいています。町民の皆さまや利用される皆さまに喜んで使っていただくと幸いです」と話されました。

ベンチは菱田小学校と持留小学校に各3脚、大丸運動公園に2脚、研修センターグラウンドに1脚、野方活性化センターに1脚がそれぞれ設置されました。



分別の目的を学ぶ機会！環境学習会

10月7日(金)、マルおおさきにおいて、衛生自治会会員(大崎町民の方々)に向けた環境学習会が開催されました。

会では、大崎町のリサイクルの取り組みについて、パネル展示や町職員による座学などを通じて、分別のコツを学んでいただきました。

参加者は「大崎町のリサイクルの取り組みについて深く知ることができ、大崎町の住民として誇らしく思いました。また分別のコツを教えていただきとても参考になりました」と話されていました。



太平洋カリブ海の記者が大崎町取材

10月19日(水)・20日(木)の2日間、太平洋島嶼国地域およびカリブ地域を中心に国際開発協力をおこなっている一般社団法人国際協力推進協会(APIC)が、両地域から記者を招き環境・防災分野で日本が有する知見と技術取材しました。

今回本町を訪れたのは、外国人記者の支援をおこなうフォーリン・プレスセンターと、ジャマイカ・フィジー・ソロモン諸島等計5か国の記者で、住民の皆さまが分別をおこなっている状況や生ごみのたい肥化について興味を持たれている様子でした。

この取材に関する記事はAPICのホームページにも掲載され、大崎町のリサイクルの取り組みが海外へ情報発信されました。



ロードリレー大会で^{たすき}繋ぎました

10月16日(日)、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅において、一般社団法人鹿児島陸上競技協会と鹿児島県実業団陸上競技連盟が主催の「ナンチク杯鹿児島県ロードリレー大会2022 in大崎」が開催されました。

コースは、同センターをスタート・中継点・フィニッシュとする周回コースで、女子の部は5区間(17.25km)、男子の部は7区間(38.25km)が設定され、高校部門と一般部門合わせて13チームが県内外から参加しました。

沿道ではチームメイトなどがエールを送り、選手は大崎町を力いっぱい駆け抜けました。